可燃ごみ広域処理施設整備についての説明会 概要

日時:令和4年6月26日(日) 午後2時00分から午後4時30分

場所:岡山市南区豊成一丁目4番1号

岡南環境センター

説明者:環境局環境施設部環境施設課(3名)

事業者 タクマ・奥村・大本・大建特定建設工事共同企業体 (7名)

参加者:周辺地域の住民など(13名)

主なご意見・ご質問とその回答

可燃ごみ広域処理施設整備について、建設工事概要の説明を行い、質疑応答が行われました。 主な内容は以下のとおりです。 (●は参加者、○は事業者、◎は岡山市を示す。) (資料○ページ: 説明会資料のページ数を示す。)

- ●工事総合仮設計画について、西側の仮囲いの設置は、赤い斜線の部分のみなのか。また、車が すれ違える程度の道路幅は確保されるか。(資料4ページ)
- ○赤いハッチ部分は道路側へ広げて仮囲いを設置する場所であり、それ以外は敷地境界の内側に 設置します。道路幅は4メートル以上を確保します。
- ●東側の道路は今でもかなり狭いため、仮囲いを道路に設置したら、車の通行が困難になる。歩行者もいるため危険である。(資料 4 ページ)
- ○道路幅は4メートル確保します。また、植栽を撤去しましたら速やかに仮囲いを敷地境界内に 収めます。
- ●カーブのところが特に狭くなるため、通れなくなるのではないか。
- ○市と対策を考えさせていただきます。
- ●煙突の解体工事の際に、どのようにダイオキシン類がでないように解体するのかを教えてほしい。
- ○煙突の外部に仮設足場をくみ上げシート養生し、煙突の上部に蓋をしたうえで、内部のダイオキシン類を除染します。また、煙突内を負圧に保つことで、ダイオキシン類が外部に漏れないように対策します。
- ●前回の説明会で、この工事と同じ工法で実施した類似の解体工事における屋外のダイオキシン類のデータを見せてほしいと言ったが、用意されていない。
- ○測定データは用意できておりませんが、屋内で機器を洗浄し、機器表面のダイオキシン類を測 定のうえ、基準値以下になっていることを確認したうえで撤去を行います。
- ●説明だけではイメージしにくい。ダイオキシン類は非常に毒性が強いと聞く。データを出して くれたら安心できるので、前回そういう話になったと思うのだが。
- ○申し訳ありません。改めてデータを出させていただきます。
- ●それは、安全安心が確保されてから工事に着工するということか。
- ○すぐにデータをまとめてお示しします。それを見ていただいて、着工させていただきたいと思います。
- ●地下水の流れが変わって、すぐに影響がでるとは限らない。工事中はもとより、工事完成後は 何年間まで補償してもらえるのか。
- ○工事完了後も水位の把握ができるように観測井は残します。工事完了後、何年間補償かについては、市とも協議をしたいと考えております。

- ●工事を始めて完了するまでの間、例えば1年に1回とか、説明会実施の予定があるか。
- ○頻度などを市と協議のうえ、ご案内させていただきます。
- ●ダイオキシン類のデータ、地下水の補償について、答えが出てからの工事ではないのか。 また、今までの意見や質問に対する回答について、抜粋して読み上げていたが、市にとって都 合の良い項目を選んでいたのではないか。全てに関して心配はありませんというが、誰が保証 してくれるのか。納得させるのなら市長をつれてきて、市長に言ってもらいたい。
- ◎ダイオキシン類と地下水について、しっかり説明させていただいてから工事に入らせてもらいます。
- ●資料をみんなに見てもらわないといけないだろう。
- ●なぜ急いで7月の半ばに始めようとするのか。
- ◎作業時間や騒音に配慮した施工をする上では、一定の工期が必要となりますので、7月上旬から工事に着手するとご案内しました。
- ●5年間もあるのだから、事業者の企業努力でどうにかなるだろう。もともとは、市がしないといけないことをしていなかったから、事業者が困っているのではないか。
- ●仮設事務所は西側用地におさめるべきだ。通勤車はコインパーキングに止めさせればよい。
- ○入札時点では、西側用地を使用できる条件ではありませんでしたし、西側用地だけでは広さも 足りないと考えております。
- ●煙突のまわりに足場を組むというが、隙間ができるだろう。
- ○外部足場は養生として設置し、煙突の先端の穴をふさいだうえ、内部を負圧で管理します。
- ●解体するときに、ダイオキシン類が残っているかもしれない。
- ○ダイオキシン類の除去作業完了時に環境測定し、環境基準値以下になっていることを確認します。
- ●煙突をふさぎ、負圧にしたら100%漏れないのか。
- 負圧にする空間の容量に対して、十分な能力の負圧機を選定します。外に漏らさないような対策を講じた上で、除染作業の方を進めさせていただきます。
- ●建築工事をする JV のそれぞれの役割を教えてほしい。
- ○甲型のJVですので、解体・新築工事を共同で行います。
- ●大本組にとって、今回の工事は大きい工事なのか、そうではないのか。
- ◎今のご質問は工事説明会の趣旨にそぐわないと思います。また、地元の方の聞きたい話とは違うと思います。
- ●工事が始まったら、住民の話は聞いてもらえなくなる。
- ◎工事が始まっても、当然皆さんのご意見ご要望はお聞きします。
- ●工事が始まって住民から苦情があったら工事が止まるのか。説明会をしているからと言うのではないか。
- ◎工事を止める必要があれば当然止めますし、止めずとも調整可能であれば調整します。ご要望を頂いた方には丁寧に対応させていただきます。
- ●個別対応ではなく、みんなの前で言わないと意味がない。
- ●解体工事は何基の重機を使用するのか。
- ○重機は複数台での解体になりますが、仮囲いの敷地境界で 80 デシベルを超える事があったら、 作業を見直し、85 デシベルの法規制値を超えないように管理していきます。
- ●85 デシベルを超えたら、市が話し合って、出ないような工法にかえてくれるのか。
- ◎事業者から説明があったように、80 デシベル管理を行い、超えたときには、それを超えないような工法について検討・協議・改善して施工を行わせます。
- ●コンクリートが落ちて、一瞬音が80デシベルを超えてもやめるということか。
- ○80 デシベルを瞬時値で超えたら通報が入るシステムにしております。

- ●それでやめるのか。
- ○原因を見直します。
- ●原因を見直したところで、解体現場で瞬時に80 デシベルも出さないというのは不可能だ。
- ●市は建築や土木の事がわかるのか。
- ◎わかります。
- ●質問や意見に対する回答だが、なぜ岡山市が回答するのか。岡山市は指導するべき立場ではないのか。
- ◎回答は市と事業者が協議のうえ作成しております。施工方法などは事業者が主体となって定めておりますが、本工事を指導する立場である市が代表して回答しました。
- ●家屋調査の覚書はかわしませんなどの、都合の悪い部分は読んでいない。
- ◎覚書についてですが、1回目に質問があった項目で、2回目の説明会でも回答させていただいています。
- ●仮設事務所を西側用地にというのも読まなかった。都合が悪いからだろう。
- ◎今までの回答と変わってないところなどは省かせてもらっています。

~~休憩~~

- ◎西側用地は、当初は事業計画地に入っておりませんでしたが、ご意見いただいた粉じん対策の ために使用させることとしました。しかし、今後の計画もあり、仮設事務所の常設は難しいこ とから、現在の駐車場等の利用となっています。
- ●それならば、そう書かないとわからない。
- ○先ほどのダイオキシン類の解体中の環境モニタリングのご質問ですが、ご希望されているのは、 他の解体現場での大気中の敷地境界の測定データですか。
- ●今回と同じ工法で行った時の、ダイオキシン類の濃度がどんな状態なのかということ。
- ○建屋内の機器に付着しているダイオキシン類が、洗浄してどれくらいの数値になったかという データはあります。その数値が低くなったことを確認してから解体作業を行います。通常の解 体工事では、作業環境では当然計測しておりますが、敷地境界などで大気中の濃度を計測する ケースはあまりありません。
- ●地域の住民としては、建屋の中の濃度が知りたいわけではない。どれぐらい飛散するのかということが知りたい。今の話だとゼロにならないということだが。
- ○ゼロにはなりません。
- ●それが地域住民に対して健康被害がないと言えるのか。
- ○ご理解いただけるようなデータを早急に作成します。
- ●ダイオキシン類やアスベスト、地下水の流れなどについて具体性のある回答をしてほしい。 中学生、高校生の試験に対する配慮について、試験週間、受験勉強は決まった期間にあると思 うのでもう少し配慮してほしい。また、岡南環境センター周辺には岡輝中や福浜中に通ってい る子どももいるので、そちらにも配慮してほしい。
- ○ダイオキシン類、アスベスト関係のデータの提示や具体的な説明について、早急に対応します。 勉強への配慮については、市と協議のうえ、満足いただける内容ではないかもしれませんが回 答させていただきました。
- ●被害を受ける近隣住民の気持ちを考えて、回答してほしい。
- ○我々も地元の方になるべくご迷惑をかけないよう取り組んでいきたいと思っておりますが、配慮不足という指摘はもちろんあると思います。出来ない事もあるかもしれませんが、事業者として精いっぱいの事はさせていただきたいと思っております。
- ◎これから設計を進めていく過程で、施工の工程が明確化してくれば、どういった配慮が可能な

のか見えてくると思います。市、事業者ともに、これ以上の配慮をしないとか、そういう姿勢 ではございません。ご迷惑をおかけする場面もありますが、精いっぱいやらせていただきます。

- ●地下水の話は。
- ○地下水をくみ上げるのは5年間の工期のうち大体2年間ぐらいで、それが終わったら、元の水 位まで地下水位を回復させますので、地下水脈がなくなるとか、水位が下がったままといった ことはありません。既存施設自体がすでに地下深くに躯体がありますので、そのまわりに遮水 壁を設置しても、流れを阻害する範囲は現状とほとんど変わらないと考えています。
- ●工事によって地下水の流れが変わってしまったことによる影響が、いつ生じるかわからない。 その影響によって資産が損害を受けるかもしれない。その窓口や補償はどのようになるのかを 聞きたい。
- ○竣工後も水位を監視できる観測井を残します。竣工後の監視体制につきましては、運営を行う 構成企業と今後、協議させていただきます。

また、工事に起因して近隣建物などに損害が起こった場合も、逃げることなく対策を行わせていただきますのでご安心いただきたいと思います。

- ●保証するのだったら、家屋調査の範囲を広げて、覚書を交わしてもよいのではないか。
- ○覚書については、議事録を残しますという説明をしております。
- ●水流が変わって、竣工後に何かあったときにはどうするのか。
- ○地盤面の変動も監視させていただいており、何かあれば対応しますという説明もさせていただいております。
- ●事前の家屋調査をしないといけないのではないか。
- ○地盤の変異について、50 から 100 メートル範囲の 30 点で計測します。
- ●何かあったときには、責任を持つのだな。
- ○本事業に起因した損害について、逃げることなく責任を持つと、そう申し上げております。
- ●6月22日までに要望とか質問を募集していたが、それはこの回答には反映されているのか。
- ◎反映させておりません。
- ●3 回説明会をやっても、いまだに話がまとまっていない。質問がひとつひとつ解決してから着工してほしいが、7月17日に着工するのか。
- ◎募集した質問・意見を回答書に反映していなかったことは、申し訳ございません。質問には個別に回答しており、公表しておりませんでした。 4件ありましたので、読み上げます。

~~読み上げ~~

- ●やはり7月に着工するのか。
- ◎皆様への配慮した工事、施工計画を立てるという点につきまして、工期というのはどうしても必要になります。先ほどから地盤沈下の質問もありますが、地質のボーリング調査や仮囲いにかからせていただきたいと考えております。
- ●住民が納得してないのに、強引にやるのか。事業者が言うならわかるが、なぜ市がそこまで急ぐのか。
- ◎水の流れなどは、ボーリング調査などをしなければわからないこともあります。
- ●仮囲いの設置で、東側の道路が狭くなる件が解決していない。
- ○道路にはみだしての仮囲いの設置は見直します。
- ●ダイオキシン類の数値でも具体的な数字をもってきてからやるべきだ。
- ◎7月上旬からはあくまで地質調査、仮囲いの設置等の工事をするだけです。
- ●そうしたら着工になるだろう。みんな納得してないのだから、仮囲いもしたらいけないだろう。 仮囲いをしたら中で何をしているかわからない。

- ◎その点については、市として業者の方にしっかり指導してまいります。
- ●市は信用できない。もう四時がきているのだから、説明会を終了しる。
- ◎ここで説明会を終了とさせていただきます。個別にご意見がある方は、残っておいていただければまた説明をさせていただきたいと思います。
- ●次回の説明会があるのかを知りたい。
- ●こんな状態で終わらせて工事したらいいことにはならない。
- ◎解体工事を始める前には必ずまた説明会を実施します。地質調査と仮囲いについてはやらせていただきたいと思います。
- ●やらせない。誰も納得していない。それなら市長を連れてきて言ってほしい。
- ●権限が無いのなら次は市長を連れてこい。事業者も権限のある者が来るべきだ。
- ◎7月の上旬から地質調査と仮囲いをして、7月の中旬に、説明会を開催したいと思います。
- ●7月の中旬に説明会をしてからだ。
- ●納得してからするべきだ。
- ●安全安心な工事だということについて、皆が納得した上で工事を始めて欲しい。次はそれなり の判断ができる役職の人が来て、話をして欲しいと思う。
- ◎着工はせず、7月の中旬にもう一度説明会を開催したいと思います。本日は長時間にわたりありがとうございました。
- ●権限ある人を連れてくるのか。
- ◎必要な人員を検討することになると思います。
- ●助役でも連れてきたらどうか。
- ◎それぞれの立場で決めていくことになると思います。終了予定時間を超えて申し訳ございませんでした。どうもありがとうございました。